

多重架橋形水系エポキシ下地調整塗材

シントーダンエポ



シントーダンエポ

シントーダンエポは、
高い躯体保護性能を有した
下地調整塗材です。

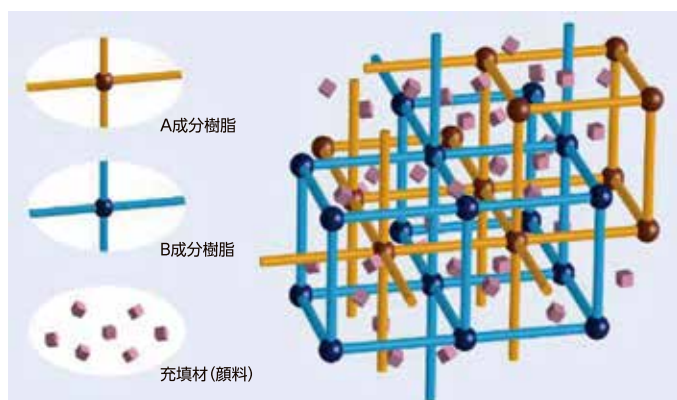
IPN構造〈相互侵入高分子網目構造〉

塗料は樹脂成分が架橋し、網目状や鎖状に結合して塗膜を形成します。

IPN構造とは、2つ以上の異なる成分が各々に架橋し網目状に結合しつつも、互いには結合せずに、それぞれの網目に侵入して、多重の網目構造を形成するものをいいます。

シントーダンエポは、強固な付着力を発揮する樹脂と、中性化抑制効果がある樹脂、微弾性機能樹脂を使用しており、IPN構造により複数の特性、機能を活かした塗膜を形成します。

単一樹脂では得られない高度な躯体保護機能を発揮し建物の保護に貢献します。



特 長

【 高抗張力 】

旧塗膜の歪みに十分耐える
抗張力を有しています。

【 高付着性 】

各種旧塗膜に対して
優れた密着性を発揮します。

【 耐ひび割れ性 】

ヘアクラックをカバーし、
旧塗膜追従性に優れています。

用途

集合住宅 戸建住宅
商業施設 公共施設 工場

適用下地

多種類の旧塗膜(リシン、Eタイル、
単層弾性、弾性タイル、マスチック
他) コンクリート、モルタル、ALC等
(除ふっ素樹脂仕上面)

荷姿

容 量 15kgセット
基 剤 14.7kg
硬化剤 0.3kg
色 相 ライトクリーム

写真・イラストはイメージです。

標準塗装仕様(改修例)

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法	
下地調整	・ごみ、ほこり、よごれ、かび、チョーキング層、藻類等の付着物は取り除く。 (10MPa程度の高圧水性推奨。高圧水洗ができない場合は、ホースで水を流しながらワイヤブラシ等を用いて入念に清掃する。)・既存塗膜の脆弱層(浮き、膨れ、はがれ等)を除去、清掃する。 ・水洗後の下地は十分に乾燥させる。 ・必要に応じて、欠損部の補修を行う。 ・下地が脆弱な場合や、著しい吸い込みがある場合は「シントー水性Mシーラー」や「浸透性マイルドエポシーラー」を塗付する。						
主材塗り	厚付け仕上げ	シントーダンエポ (水道水)	1～3	0.8～1.2	1	16時間～ 7日	多孔質 ローラー
	薄付け仕上げ	シントーダンエポ (水道水)	5～8	0.3～0.8	1	16時間～ 7日	中毛 ローラー

水系4フッ化ふっ素セラミック塗料仕上げ

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
中塗り	アクアフロンティア中塗 (水道水)	5~10	0.12~0.15	1	3時間~ 7日	はけ・ ローラー
上塗り	アクアフロンティアHG-II (水道水)	5~10	0.12~0.15	1	—	はけ・ ローラー

水系シリコン塗料仕上げ

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
上塗り	水性ハイトトップ (水道水)	5~15	0.12~0.15	2	2時間~ 7日	はけ・ ローラー

弱溶剤シリコン塗料仕上げ

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
上塗り	ハヤブサシリコン (塗料用シンナーA)	5~10	0.12~0.15	2	3時間~ 7日	はけ・ ローラー

●被塗物の形状、表面状態によって、各工程の使用量は変動することがあります。

仕上げの選択性

塗装方法により既存のテクスチャーを活かした薄付け仕上げや、厚付け仕上げ(さざ波仕上げ)の選択が可能です。

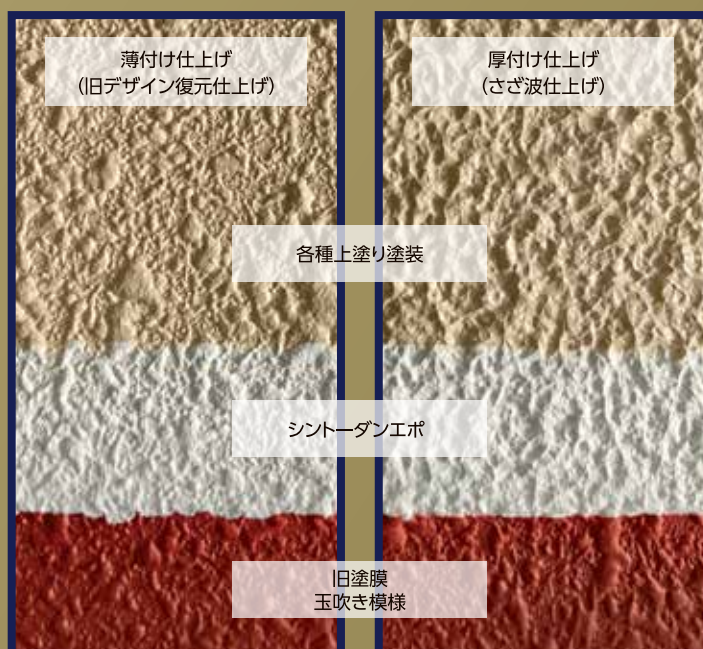
適用上塗り塗料

【水系上塗り】

- ・アクアフロンティアHG-II
- ・水性ハイトセラ
- ・水性ハイトトップ
- ・グランツマイスターSI
- ・シントー水性グランツSI
- ・シントー水性グランツUP
- ・シントー水性グランツGP

【弱溶剤系上塗り】

- ・マイルドフロンティアHG
- ・シントーハヤブサシリコン
- ・シントーハヤブサウレタン
- ・シントー1液ハヤブサウレタン



ご使用上の注意事項

施工上の注意事項

1. 気温5℃以下のときは塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延など不具合が生じやすくなります。やむを得ず低温時に塗装するときは採暖対策が必要です。
2. 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって、乾燥遅延や塗膜性能を発揮できないことがあります。
3. 降雨、結露が予測される場合、または強風の場合は塗装を避けてください。
4. 絶えず結露が発生するような場所での塗装は避けてください。やむを得ず塗装するときは、送風機等での強制換気の上、溶剤系塗料での塗装をおすすめします。
5. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
6. コンクリート、モルタル面への塗装で含水率10%以上、(デジタル式水分計の場合は5%以上)、pH10以上の場合は塗装を避けてください。
7. 軽量モルタル、窯業系サイディングボード、ALC、発泡ウレタンを使用した外壁材など蓄熱されやすい建材に塗装する場合は、既存膜の種類・下地の状態(蓄熱、含水など)の影響で不具合が発生することがあります。
8. 新設の場合は、必ず下塗にシーラーを塗装してください。また、旧塗膜が脆弱な場合にもシーラーが必要とする場合があります。予めご相談ください。
9. 押出成形セメント板、GRC面、フレキシブルボードなどは、下塗りとして「浸透性マイルドエポシーラー」「浸透性エポキシシーラー」をご使用ください。
10. ALC面、コンクリートブロック面など多孔質下地の場合は、素地に巣穴や段差がある場合は、セメント系下地調整剤(樹脂入り)などで処理してください。
11. シーリング材の上への塗装は、シーリング材の種類や材齢により塗膜の汚染、剥離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあるため極力塗装を避けてください。やむを得ず塗装するときは、シーリング材が完全に硬化した後に、ブリード防止用プライマーの「アンチブリーダーS」をシーリング面に先行塗りすることにより不具合発生低減を図れます。ただしシーリング材の種類によっては、不具合低減ができない場合もあります。
12. 旧塗膜がスキヤクや高弾性(壁面防水材)の場合は適用できない場合がありますので、予めご相談ください。

取り扱いに関する注意事項

1. 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
2. 火気のあるところでは使用しないでください。
3. エポキシ樹脂系塗料などは、体質により皮膚接触による感作性を引き起こすことがあります。
4. 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
5. 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
6. 基剤・硬化剤は所定の割合で混合し、電動攪拌機等を用いて十分にかけ混ぜてください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照ください。
※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

7. 小分けして使用する場合は、予め塗料缶の内容物を均一になるよう攪拌してから小分けを行い、必ずはかりを用いて計量し、正しい比率で混合してください。
8. 塗料開缶は原則として使用する直前にいき、開缶したものは、その日のうちに使用してください。可使時間以上経過した塗料は塗装しないでください。
9. さげ缶に小分けするときは、十分にかけ混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使用してください。
10. 開缶後や作業中断時など、塗料が入った容器を放置していると皮張りしやすいため、常にフタをするように心がけてください。
11. 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを行ってください。
12. 使用した塗装器具は、直ちに水洗いしてください。
13. 現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない風通しのよい場所で保管してください。また、未開缶の塗料は出来るだけ直射日光を避け、屋内倉庫に貯蔵してください。

塗装に関わる注意事項

1. 希釈率、塗装間隔、可使時間などは、規定の数値を厳守してください。
2. 薄付け仕上げで塗装する場合、「シントーダンエポ」配合中の粗い顔料が表面に露出し、上塗り塗料の艶感に影響が出る場合があります。
3. エポキシ樹脂塗料の特性として、塗装後の塗膜が紫外線により黄変することがありますが、付着力等の塗膜物性には影響ありません。
4. 薄付け仕上げで塗装する場合、上塗りには強溶剤塗料の使用はリフティングを生じるおそれがあるため塗装は避けてください。

緊急時の対応

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウエス)などで拭き取ってください。

廃棄

使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

保管

1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
4. 容器はつり上げないでください。



くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング

神東塗料

本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06) 6426-3355(代) FAX(06) 6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123) 32-0431 FAX(0123) 34-6199
東北 ☎(022) 285-7915 FAX(022) 285-7813
東京 ☎(03) 5690-0544 FAX(03) 5690-0553
静岡 ☎(054) 245-0135 FAX(054) 247-4091

北 陸 ☎(076) 262-1305 FAX(076) 262-1315
名古屋 ☎(052) 612-0293 FAX(052) 612-0318
大 阪 ☎(06) 6426-3763 FAX(06) 6429-6268
中 国 ☎(082) 264-6822 FAX(082) 264-6821

四 国 ☎(087) 841-1251 FAX(087) 843-3108
九 州 ☎(092) 472-2222 FAX(092) 473-5777
<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。